

令和6年度診療・介護報酬同時改定と栄養ケア・マネジメント ～1日でわかって変わるための研修会～

主催：一般社団法人日本健康・栄養システム学会 後援：公益社団法人京都府栄養士会
協力：公益社団法人滋賀県栄養士会 公益社団法人大阪府栄養士会 公益社団法人兵庫県栄養士会
公益社団法人奈良県栄養士会 公益社団法人和歌山県栄養士会
一般社団法人京都私立病院協会 一般社団法人京都府老人保健施設協会 京都府慢性期医療協会



令和6年度診療報酬・介護報酬同時改定によって、医療・介護の栄養ケア・マネジメントは、「一体的取組」と「情報連携」をキーワードに新たなステージに突入しました。日本健康・栄養システム学会は、令和4年度及び5年度厚生労働省老人保健健康増進等事業を通じてエビデンスの提供や手引書等の作成を行うなど、本同時改定に貢献いたしました。

本研修会では、厚生労働省及び本学会の関係者が、「食べることの楽しみをいつまでも」を目指した「一体的取組」や「情報連携」についてマネジメントの視点から解説します。皆様一人ひとりがプロフェッショナルリズムを発揮して明日の実務に臨んで頂けるよう、楽しい研修会にいたします。

■日時：令和6年10月26日(土) 10:00～16:10 (9:30 受付開始)

■場所：長岡京市中央生涯学習センター
京都府長岡京市神足2丁目3番1号
バンビオ1番館

■対象：管理栄養士、その他職種、管理者等

■参加費：5,000円(税込)/人

■申込締切：令和6年10月21日(月)

■単位認定：臨床栄養師継続研修20単位
(コードA1 「学会主催の研修会」)
日本栄養士会生涯教育単位 2単位

※昼食は各自にてご用意ください(会場内飲食可)

お申し込み後のキャンセルへの返金には対応出来かねますので
ご確認の上、お申込みくださいませ。



教材について

各講師による教材の他、厚生労働省令和5年度老人保健健康増進等事業 老人保健事業推進等補助金にて本学会が作成した「令和6年度介護報酬改定に基づく手引書 高齢者の口から食べる楽しみをいつまでも！！ リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の「一体的取組」のための手引書」を使用。



09:30	受付開始
10:00	<p>【開催のご挨拶】 日本健康・栄養システム学会 代表理事 三浦 公嗣 京都府栄養士会 会 長 熊谷 幸江</p>
10:05～10:35	<p>基調講演 『令和6年度診療報酬・介護報酬改定と栄養ケアマネジメント ～管理栄養士にエールを送る～』 演者：三浦 公嗣（日本健康・栄養システム学会 代表理事）</p> <p>令和6年度診療報酬・介護報酬改定に対しての本学会からの提案書をまとめられた三浦公嗣代表理事（元厚生労働省老健局長、日本栄養士会顧問）から、この度の改定の背景や概要に関する解説と医療・介護サービス提供者にエールが送られます。ご参加の皆様は、ご自身の使命を再確認して、明るく前向きなお気持ちになられるはずです。</p>
10:35～11:35	<p>セッション1 『令和6年度診療報酬・介護報酬改定の要点と最新情報』 診療報酬改定： 日名子 まき氏（厚生労働省保険局医療課 課長補佐） 介護報酬改定： 増田 利隆 氏（厚生労働省前老健局老人保健課 調整官） コーディネーター（障害福祉サービス報酬改定解説を含む）： 齋藤 陽子 氏（厚生労働省老健局老人保健課 調整官）</p> <p>令和6年度診療報酬・介護報酬改定は、実は障害福祉系サービス費改定のトリプル改定でした。この3つの改定を直接担当された厚生労働省の3人の先生方によるセッションです。参加者の皆様は、すでに今回の改定説明を聞かれていると思いますが、ここでは、新設や見直された各報酬の真の意義や強調したい重要事項、今後の改定に向けて実務者が進めておくべき事項等について解説して頂きます。厚生労働省等のホームページに掲載された図や文書では見落としや、勘違いしていることに目から鱗ということもあるかもしれません。</p>
11:45～12:40	<p>セッション2 『どう考え、どうする？～「一体的取組」「情報連携」手引書解説～』 演者：高田 健人 氏（十文字学園女子大学 講師） 堤 亮介 氏（平成医療福祉グループ 栄養部 部長）</p> <p>この度の改定のキーワードは、「一体的取組」と「情報連携」です。医療・介護サービス担当者は、これらについて、どう考え、どうしたら（どう行動したら）よいのでしょうか？ 本学会は、今回の改定のために厚生労働省老人保健健康増進等事業として令和4、5年の2年間にわたり調査研究事業を行いました。本調査研究事業においては、特養、老健、通所リハビリテーション及び通所介護事業において全国規模の実態調査やインタビュー調査が行われました。これらの結果から一体的取組や情報連携の効果や課題がエビデンスとして提供されたのです。この分析や報告書作成に係った高田健人十文字学園女子大学人間生活学部食物栄養学科講師と、これらの研究結果をもとにした先駆的事例集や手引書の作成の中心的役割を担った堤亮介平成医療福祉グループ栄養部長が、エビデンスから実務の体制づくりや取組の具体的な方法や手順、チームビルディング、モノ、ヒト、カネ、情報（ICT等の活用）等のマネジメント、継続的品質改善活動へのLIFEの活用等の考え方や実務活動への落とし込み方を具体的に解説します。</p>

12:40~13:30	昼食休憩
13:30~14:50	セッション3 『栄養ケア・マネジメントをマネジメントで変える～入院から在宅訪問まで～』 急性期病院： 矢野目 英樹氏 （社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 栄養科科长） 高齢者医療・介護： 谷中 景子 氏 （医療法人社団千春会 千春会病院 栄養科統括主任） 急性期病院と慢性期医療・介護において先駆的な取組をしている2人の栄養部門の管理職によるセッションです。この度の報酬改定に伴う急性期・回復期・療養病棟、老健・通所リハビリテーションから訪問栄養食事指導まで、どう体制をつくり、専門職人材を配置し、地域連携をはかっているのか、収益は、人材採用や教育システムはどうしたらよいか、実務現場が直面しているこれらの課題に対して、実際の事例を通じて解説します。参加者夫々の自施設の状況を踏まえて、どうしたらよいかを考えてみてください
15:00~16:00	総合討論 参加者と講師全員との意見交換を通じて出来るだけ問題解決をはかって、1日で分かって変わって、さあやろう！！と参加者の皆様にとって有意義な時間となれば幸いです。
16:00	まとめと閉会 谷中 景子 氏 （医療法人社団千春会 千春会病院 栄養科統括主任）

※ご昼食はご自身でご用意いただきますよう、お願い申し上げます。会場内での飲食は可能です。

お申込みについて

本研修会の参加登録は「Peatix」を利用して行います。
右記のQRコードよりお申込み用フォームをご入力ください。

WEBでのお申込みは当学会ホームページからでも行えます。
日本健康・栄養システム学会のホームページからもお申込みフォームのリンクを貼っております。

※お申し込み後、Peatixから領収書データを印刷できます。
適格請求書に対応をしていないため、対応した領収書データが必要な場合は、別途事務局よりご登録アドレスにアナウンスをさせていただきます。



申込フォーム